

平成15年 1月17日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一広島大学大学院国際協力研究科 公開講義「産業技術開発論」
－学生によるディベート決勝戦－の実施について

大学院国際協力研究科では、下記のとおり、産学連携の講義「産業技術開発論」の成果として、学生によるディベート決勝戦を、学内外の方々を対象に公開いたします。大学の講義参観という新たな試みに、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

日時 1月31日(金) 15:00～16:30
会場 広島大学 大学院国際協力研究科 1階 大会議室
(東広島市鏡山一丁目5-1 電話(0824-24-6910))
論題 『移民受け入れを推進すべし』
参観申込 FAX, 又はメールで「講義参観希望」とし、氏名、所属、連絡先を明記の上、下記宛お申し込みください。

|広島大学大学院国際協力研究科 藤原章正|
| FAX(0824)24-6921 |
|E-mail: afujiw@hiroshima-u.ac.jp |

【お問い合わせ先】
広島大学大学院国際協力研究科
教授 藤原章正
FAX(0824)24-6921

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]

[○プログラム等](#)

2002年度広島大学大学院国際協力研究科 公開講義「産業技術開発論」
 学生によるディベート決勝戦
 論題:「移民受け入れを推進すべし」

前略

急速に変化する社会の中、国際的に通用する技術者となるには、専門領域の高い技術能力に加え、広い視野と柔軟な思考能力、技術者倫理や国際的視点をもったデザイン能力、コミュニケーション能力が一層要求されるようになっていきます。

広島大学大学院国際協力研究科では平成14年度より(財)マツダ財団とのジョイント講義として「産業技術開発論」を開講し、技術の最前線で活躍する技術者を招いて実践型の教育を行っています。これまでに学んだ専門技術を社会に活かすために最低限必要な考え方(産業技術開発の新しい視点)やリスク対応の知識を学び、演習(ディベート)することで上記能力を養成することが目的です。

この度、学内外の方々を対象に、産学連携の講義の成果としてディベート決勝戦(論題:移民受け入れを推進すべし)を下記の通り公開します。ディベートへの出場者は広島大学の技術系学生です。これまでほとんど行われることのなかった大学の講義参観という新たな試みに、どうぞ奮ってご参加ください。

早々

記

日時:平成15年1月31日(金)15:00~16:30

場所:広島大学大学院国際協力研究科1階大会議室
 東広島市鏡山1-5-1 電話 0824-24-6910

次第:	開会	総合司会	広島大学大学院国際協力研究科教授 藤原章正	
	1. 開会の辞		広島大学大学院国際協力研究科長 齊藤公男	15:00
	2. ディベートの紹介		マツダ財団常務理事 慶徳晴司	15:06
	3. 決勝戦	進行	マツダ財団 佐々木俊和	15:10
	(1)出場者紹介			
	・肯定側ディベーター			
	・否定側ディベーター			
	・ジャッジ			
	(2)ディベート決勝戦		「移民受け入れを推進すべし」	
	・立論			
	・反対尋問			
	・第一反駁			
	・第二反駁			
	・審判判定		ジャッジコメント/会場ジャッジ集計/勝敗結果発表	
	4. 表彰式			16:00
	(1)表彰状・表彰盾授与		マツダ財団常務理事 慶徳晴司	
	(2)賞品授与		中国電力(株)広報室マネージャー 後藤裕宣	
	5. ディベート講評		中国電力(株)広報室マネージャー 後藤裕宣	16:10
			マツダ財団 小林一夫	
	閉会		広島大学大学院国際協力研究科教授 藤原章正	16:18
	事務連絡		マツダ財団 佐々木俊和	16:20

協力: マツダ株式会社, 中国電力株式会社, キャリアデザインオフィス, 日本アイビーエム株式会社

問合せ先: 広島大学大学院国際協力研究科 藤原章正

電話・FAX 0824-24-6921, E-mail: afujiw@hiroshima-u.ac.jp